

平成13年度秋冬作芝関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成13年度秋冬作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成14年7月4日(木)に桑名シティホテルにおいて開催された。

この検討会には、試験場関係者16名、委託関係者38名ほか、計59名の参集を得て、除草剤14薬剤

(161点)、生育調節剤1薬剤(2点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成13年度 秋冬作芝関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A. 除草剤

薬剤名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草; ねらい] 処理時期 ; 薬量g・mL<水量mL>/m ² ; 処理方法等	判 定	内 容
1. AC-414 顆粒水和剤 シクロスルファミロン 66%	コライシバ	適用性 継 続	利府GC 東日本G研 佐野GC 関西G研 佐賀CC (5)	[一年生広葉雑草] ①雑草発生前 0.03, 0.045, 0.06g<200-250> ; 土壌処理 ; ダブダブアップ 水和0.3g<200-250>	実 ・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ、ケンタッキーブル ーグラス、ベレニアムライグラス) 一年生 広葉雑草] ・ 芝生育期(秋)、 雑草発生前～発生初期 (広葉雑草3葉期まで). ・ 0.03～0.06g<200～300mL>. ・ 土壌処理. 継) ・ 実証試験での確認。
			利府GC 東日本G研 佐野GC 関西G研 佐賀CC (5)	[一年生広葉雑草] ②雑草発生初期(3葉まで) 0.03, 0.045, 0.06g<200-250> ; 土壌処理 ; ダブダブアップ 水和0.3g<200-250>		
	ノシバ	適用性 継 続	北陸草地環境研 美野里GC リバー富士CC 花屋敷GC 宮崎CC (5)	[一年生広葉雑草] ①雑草発生前 0.03, 0.045, 0.06g<200-250> ; 土壌処理 ; ダブダブアップ 水和0.3g<200-250>		
			北陸草地環境研 美野里GC リバー富士CC 花屋敷GC 宮崎CC (5)	[一年生広葉雑草] ②雑草発生初期(3葉まで) 0.03, 0.045, 0.06g<200-250> ; 土壌処理 ; ダブダブアップ 水和0.3g<200-250>		
	ケンタッキー ブルー グラス	適用性 継 続	札幌国際CC 利府GC 那須ナセー (3)	[一年生広葉雑草] ①雑草発生前 0.03, 0.045, 0.06g<200-250> ; 土壌処理 ; インバーンDF 0.04g<200-250>		
			札幌国際CC 利府GC 那須ナセー (3)	[一年生広葉雑草] ②雑草発生初期(3葉まで) 0.03, 0.045, 0.06g<200-250> ; 土壌処理 ; インバーンDF 0.04g<200-250>		
	ベレニアム ライグラス	適用性 継 続	泉パークタウンGC 浜松シーサイドGC 祁答院GC (3)	[一年生広葉雑草] ①雑草発生前 0.03, 0.045, 0.06g<200-250> ; 土壌処理 ; 一任		
			泉パークタウンGC 浜松シーサイドGC 祁答院GC (3)	[一年生広葉雑草] ②雑草発生初期(3葉まで) 0.03, 0.045, 0.06g<200-250> ; 土壌処理 ; 一任		
[ヒューエスエフ アクトロ]						

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/m ² ;処理方法等	判 定	内 容
2. AEH-002 顆粒水和剤 新規化合物 10%	日本芝	作用性 新 規	植調研究所 (1)	[一年生広葉雑草] 雑草発生前～発生初期 0.006-0.04g<200-300> ; 土壌処理	継	継) ・成分未公開. ・効果、薬害の確認.
	コライシバ	適用性 新 規	東日本G研 宇都宮大学 奥武蔵CC 中国G連G研 西日本G研 (5)	[一年生広葉雑草] 雑草発生前 0.01, 0.015, 0.02g<200-300> ; 土壌処理 ; インプールDF 0.03g		
3. AL-131 フロアブル剤 ジチオピル 26%	コライシバ	適用性 新 規	利府GC 東日本G研 大月CC 大阪農技セ 西日本G研 宮崎CC (6)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.15, 0.2, 0.25ml<200-300> ; 土壌処理 ; バイザール水和剤	実 ・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ)一年生雑 ・草] ・芝生育期(秋)、雑草発生前. ・0.2～0.25ml<200～300ml>. ・土壌処理. 継) ・低薬量での効果の確認. ・倍量薬害試験での確認. ・連用試験での確認. ・実証試験での確認.
	ノシバ	適用性 新 規	サ・グリーンアライヤー-WV 植調研究所 吉見G場 鳥取園試 中国G連G研 佐賀CC (6)			
4. DAH-981 水和剤 ジチオピル 40%	ケンタッキー ブルー グラス (倍量)	作用性 新 規	サ・グリーンアライヤー-WV 那須ナセー (2)	[倍量薬害] 雑草発生前 0.1g<250> 0.2<500> 0.4<1000> ; 土壌処理 ; 一任	実 ・ 継	実) [(コライシバ、ノシバ)一年生雑 ・草] ・芝生育期(秋)、雑草発生前. ・0.1～0.2g<200～300ml>. ・土壌処理. [(ケンタッキーブルーグラス)一年生 雑草] ・芝生育期(秋)、雑草発生前. ・0.05～0.1g<200～300ml>. ・土壌処理. 継) ・ケンタッキーブルーグラスの連用試験の 継続. ・ケンタッキーブルーグラスの実証試験で の確認.
	ケンタッキー ブルー グラス (連用)	作用性 継 続	サ・グリーンアライヤー-WV 那須ナセー (2)	[連用薬害] H13春→H13秋→H14春→H14秋 雑草発生前 0.1g<200-300> ; 土壌処理		
5. ESH-01 水和剤 ベスロシオン 58%	コライシバ	適用性 継 続	植調研究所 宇都宮大学 那須ナセー 奥武蔵CC 西日本G研 (5)	[一年生広葉雑草(ネ科を除く)] 雑草発生前 0.5, 0.7g<200-300> ; 土壌処理 ; バナフィン顆粒水和剤 0.5g<200-300>	実	実) [(コライシバ、ノシバ)一年生雑 ・草] ・芝生育期(秋)、雑草発生前. ・0.5～0.7g<200～300ml>. ・土壌処理.
	ノシバ	適用性 継 続	宇都宮大学 奥武蔵CC 関西G研 中国G連G研 西日本G研 (5)			

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・続 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/m ² ;処理方法等	判 定	内 容
6. FN-502 顆粒水和剤 カルフェントラゾニエチル 40% [エフ・エム・シー、 日産化学工業]	コウライシバ	適用性 継 続	東日本G研 植調研究所 宇都宮大学 中国G連G研 西日本G研 (5)	[一年生広葉雑草] 雑草発生初期～生育初期 0.01, 0.015, 0.02g<150-200> ; 茎葉処理 ; MCPP 1.0ml<200>	実・ 継	実) [(コウライシバ、ノシバ)一年生広 葉雑草] ・ 芝生育期(秋)、 雑草発生初期(3葉期まで). ・ 0.01～0.02g<100～200ml>. ・ 茎葉処理. 継) ・ 倍量薬害試験での確認. ・ 実証試験での確認.
	ノシバ	適用性 継 続	東日本G研 植調研究所 宇都宮大学 中国G連G研 西日本G研 (5)			
7. HCW-001 CE剤 chlorpropham (IPC) 50% [保土谷化学工業]	コウライシバ (倍量)	作用性 新 規	植調研究所 西日本G研 (2)	[一年生イネ科雑草(スズメノカタビラ)] 雑草発生初期 0.8ml<200- 300> 1.6 <400- 600> 3.2 <800-1200> ; 土壌処理 ; クロIP乳剤 3.2ml<800-1200>	実・ 継	実) [(コウライシバ、ノシバ)一年生イ ネ科雑草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前. ・ 0.3～0.4ml<200～300ml>. ・ 芝生育期(秋)、 雑草発生初期(3葉期まで). ・ 0.4～0.8ml<200～300ml>. ・ 土壌処理. 継) ・ 薬量と効果の確認. ・ 連用試験での確認. ・ 実証試験での確認.
	ノシバ (倍量)	作用性 新 規	東日本G研 西日本G研 (2)			
	コウライシバ	適用性 新 規	東日本G研 佐野GC 鳥取園試 中国G連G研 西日本G研 (5)	[一年生イネ科雑草(スズメノカタビラ)] ①雑草発生前 0.2, 0.3, 0.4ml<200-300> ; 土壌処理 ; クロIP乳剤 0.4ml<200-300>		
			東日本G研 佐野GC 鳥取園試 中国G連G研 西日本G研 (5)	[一年生イネ科雑草(スズメノカタビラ)] ②雑草発生初期 0.4, 0.6, 0.8ml<200-300> ; 土壌処理 ; アシエラム80SG 0.2g<200-300>		
	ノシバ	適用性 新 規	泉バークタウンGC 植調研究所 奥武蔵CC 中国G連G研 西日本G研 (5)	[一年生イネ科雑草(スズメノカタビラ)] ①雑草発生前 0.2, 0.3, 0.4ml<200-300> ; 土壌処理 ; クロIP乳剤 0.4ml<200-300>		
			泉バークタウンGC 植調研究所 奥武蔵CC 中国G連G研 西日本G研 (5)	[一年生イネ科雑草(スズメノカタビラ)] ②雑草発生初期 0.4, 0.6, 0.8ml<200-300> ; 土壌処理 ; アシエラム80SG 0.2g<200-300>		
8. HOK-9801 水和剤 イソキサベン 5% テニルクロール 50% [トクマ、 北興化学工業]	ベント グラス	適用性 新 規	プラーザムカデーション 那須ナセリー 関西G研 祁答院GC (4)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.2, 0.3, 0.4g<200-300> ; 土壌処理	実・ 継	実) [(コウライシバ、ノシバ)一年生雑 草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前. ・ 0.2～0.4g<200～300ml>. ・ 土壌処理. 継) ・ ベントグラスに対する効果、薬害 の確認. ・ 倍量薬害試験での確認. ・ 実証試験での確認.

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/m ² ;処理方法等	判 定	内 容
9. KUH-007 顆粒水和剤 カフェンストロール 45% レナシル 25% [理研ケリン、 クマイ化学工業]	コウライシバ	適用性 継 続	北陸草地環境研 吉見G場 リハ ⁺ -富士CC 東広野GC 門司GC (5)	[一年生雑草] ①雑草発生前 0.2, 0.3, 0.4g<200-300> ; 土壌処理 ; レナシル水和 0.2g<200-300>	実・ 継	実) [(コウライシバ ⁺ 、ノシバ ⁺) 一年生雑 草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前 〜発生初期(3葉期まで) ・ 0.2〜0.4g<200〜300ml>. ・ 土壌処理. 継) ・ 倍量薬害試験での確認. ・ 連用試験での確認. ・ 実証試験での確認.
			北陸草地環境研 吉見G場 リハ ⁺ -富士CC 東広野GC 門司GC (5)	[一年生雑草] ②雑草発生初期(3葉まで) 0.2, 0.3, 0.4g<200-300> ; 土壌処理 ; レナシル水和 0.2 g<200-300>		
	ノシバ ⁺	適用性 継 続	ブラッサムカ ⁺ -テン 美野里GC 南長野GC 大阪農技セ 花屋敷GC (5)	[一年生雑草] ①雑草発生前 0.2, 0.3, 0.4g<200-300> ; 土壌処理 ; レナシル水和 0.2g<200-300>		
			ブラッサムカ ⁺ -テン 美野里GC 南長野GC 大阪農技セ 花屋敷GC (5)	[一年生雑草] ②雑草発生初期(3葉まで) 0.2, 0.3, 0.4g<200-300> ; 土壌処理 ; レナシル水和 0.2 g<200-300>		
10. MAC-1 フロア ⁺ ル剤 クミルロン 45% [丸紅]	ベレニアル ライグ ⁺ ラス (倍量)	作用性 継 続	植調研究所 中国G連G研 (2)	[倍量薬害] ライグ ⁺ ラス発芽後(オーバーシート ⁺ 後10日 前後) 2ml<300> 4 <600> 8 <1200> ; 土壌処理 ; 一任	実	実) [(ベントグ ⁺ ラス、ケンタッキーフ ⁺ ルーク ⁺ ラ ス)スズメノカタビ ⁺ ラ] ・ 芝生育期(秋)、 スズメノカタビ ⁺ ラ発芽前. ・ 1〜2ml<200〜300ml>. ・ 土壌処理. [(ベレニアルライグ ⁺ ラス)スズメノカタビ ⁺ ラ] ・ ライグ ⁺ ラス発芽後(オーバーシート ⁺ 後10 日前後)、スズメノカタビ ⁺ ラ発芽前. ・ 1〜2ml<200〜300ml>. ・ 土壌処理.
	ベレニアル ライグ ⁺ ラス	適用性 継 続	泉パークタウンGC 東日本G研 那須ナ ⁺ -セリ 浜松シ ⁺ サイト ⁺ GC 中国G連G研 祁答院GC (6)	[一年生イネ科雑草、 一年生カタリク ⁺ サ科雑草] ライグ ⁺ ラス発芽後(オーバーシート ⁺ 後10日 前後) 1.0, 1.5, 2.0ml<200-300> ; 土壌処理		
11. NHK-011 フロア ⁺ ル剤 ビ ⁺ ラフルフェニエチル 2% [日本農薬]	コウライシバ	作用性 継 続	植調研究所 (1)	[広葉雑草(マメ科を除く)] 雑草生育期 NHK-011:0.15ml+SU系、フェノキシ 系薬剤:標準量<100-200> ; 茎葉処理(現地混用)	実・ 継	実) [(コウライシバ ⁺) 一年生広葉雑 草] ・ 芝休眠期、 雑草発生初期(3葉期まで). ・ 0.15〜0.2ml<100〜200ml>. ・ 茎葉処理. [(ベントグ ⁺ ラス) 一年生広葉雑草] ・ 芝生育期(秋)、 雑草発生初期(3葉期まで). ・ 0.1〜0.15ml<100〜200ml>. ・ 茎葉処理. 継) ・ 実証試験での確認.
	コウライシバ	適用性 継 続	東日本G研(2) 植調研究所(2) 中国G連G研(2) 西日本G研 (7)	[広葉雑草(マメ科を除く)] 雑草生育期 0.1, 0.15, 0.2ml<100-200> ; 茎葉処理 ; MCP液剤 0.75ml<100-200>		
	ベント グ ⁺ ラス	適用性 継 続	東日本G研(2) 那須ナ ⁺ -セリ(2) 東広野GC (5)	[広葉雑草(マメ科を除く)] 雑草生育期 0.075, 0.1, 0.15ml<100-200> ; 茎葉処理 ; MCP液剤 0.75<100-200>		

A. 除草剤 つづき

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [対象雑草;ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/m ² ;処理方法等	判 定	内 容
12. NOJ-120 顆粒水和剤 トリフロキシメスフロキサリウム 塩 75%	コウライシバ (連用)	作用性 新 規	東日本G研 西日本G研 (2)	[連用薬害] H12秋→H13春→H13秋→H14春 雑草発生初期(3葉まで) 0.006g<200-250> ;茎葉処理	実・ 継	実) [(コウライシバ、ノシバ)一年生雑 草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生初期 ～生育期(5葉期まで). ・ 0.003～0.006g<150～250ml>. ・ 茎葉兼土壌処理.
[シシエンタジヤハシ]	ノシバ (連用)	作用性 新 規	東日本G研 西日本G研 (2)	[連用薬害] H12秋→H13春→H13秋→H14春 雑草発生初期(3葉まで) 0.006g<200-250> ;茎葉処理	継)	・ 倍量薬害試験での確認. ・ 実証試験での確認.
13. RGH-941 フロアブル剤 ブラクロール 40%	ケンタッキー ブルー グラス	適用性 継 続	札幌国際CC 泉パークタウンGC ザ・グリーンプレイヤーWV (3)	[一年生雑草] 雑草発生前 0.6, 0.8, 1.0 g<200-300> ;土壌処理 ;バクシン顆粒水和 0.6 g<250-300>	実・ 継	実) [(コウライシバ、ノシバ、ケンタッキーブル ーグラス)一年生雑草] ・ 芝生育期(秋)、雑草発生前. ・ 0.6～1.0ml<200～300ml>. ・ 土壌処理.
[理研グリーン]					継)	・ 実証試験での確認.
14. TH-913H4 フロアブル剤 イマズスフロロン 40%	ベント グラス (倍量)	作用性 新 規	東日本G研 中国G連G研 (2)	[倍量薬害] 0.2ml<200- 300> 0.4 <400- 600> 0.8 <800-1200> ;茎葉処理	実・ 継	実) [(コウライシバ、ノシバ、ケンタッキーブル ーグラス)一年生広葉雑草] ・ 芝生育期(秋)、 雑草発生初期(3葉期まで). ・ 0.1～0.2ml<200～300ml>. ・ 土壌処理.
	コウライシバ	適用性 継 続	ブラッサムカールテン 植調研究所 奥武蔵CC 中国G連G研 門司GC (5)	[多年生広葉雑草] 雑草発生初期(3葉まで) 0.2ml<200-300> ;茎葉処理 ;シバタイトロアブル0.8ml<200-300>		[コウライシバ]多年生広葉雑草] ・ 芝生育期(秋)、 雑草発生初期(3葉期まで). ・ 0.2ml<200～300ml>. ・ 土壌処理.
	ベント グラス	適用性 新 規	ブラッサムカールテン 浜松シーサイトGC 東広野GC 祁答院GC (4)	[一年生広葉雑草] 雑草発生初期(3葉まで) 0.1, 0.15, 0.2ml<200-300> ;茎葉処理 ;インパール水和剤 0.3g<200-300>	継)	・ 連用試験での確認. ・ 実証試験での確認. ・ 生育期の多年生広葉雑草に対 する効果の確認. ・ ベントグラスでの効果、薬害の確 認.
[武田薬品工業]						

B. 生育調節剤

薬 剤 名 (商品名) 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名 (品種)	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 (数)	試験設計 [ねらい] 処理時期 ;薬量g・ml<水量ml>/m ² ;処理方法等	判 定	内 容
1. KUH-913 液剤 ピーストリバクナトリウム塩 3% [理研グリーン、 クマイ化学工業]	ベント グラス	適用性 新 規	静岡CC 朝霧ジャンボリーCC (2)	[スズメノカタビラの出穂抑制による 密度の低減] 4、5、6月に1ヶ月毎及び9月下旬～ 10月上旬(スズメノカタビラ生育期) 0.2ml<200> ;茎葉処理	継	継) ・ 効果、薬害の確認.